

第 517 回 例 会

24年9月28日

本日のプログラム

- ・USJ例会
 - 時間 17時30分 ~ 受付
 - 18時00分 ~ 例会
 - 場所 USJ「ロンバース・ランディング 2階」

次回(10月5日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 小山田 光正 会員
ゲストスピーカー 岩朝 しのぶ 氏
「施設養育と里親制度の現状」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第4回理事会 13:40~ 4階「橋の間」

10月の例会予定

- ◎5日 卓話 小山田会員 ◎12日 休会
 - ◎19日 卓話 井上パストガバナー ◎26日 クラブフォーラム(社会奉仕／米山奨学／ロータリー財団)
- ※ 10月から例会場は、5階「ガーデンルーム」に戻ります

先週(9月28日)の例会報告

■会長の時間

【生きていくか、死ぬか、それが問題だ】

シェークスピアの戯曲『ハムレット』第三幕第一場で、主人公ハムレットが独白する科白。

いろいろ考え、悩み、苦しみぬいて、どうしようもなくなったときに発することはだといえる。母親のガートルードによって人間の肉欲のあさましさを知り、父親の仇を討つという難事をひかえ、生きていくのがつくづく苦痛になった。それならいっそ自殺することによって、悩みと苦痛を解消してしまえばよい。が、命を絶つことで果して苦痛と悩みから逃れられるだろうか。死後の世界のことは、生きていく人間にはうかがえない。そこへ旅立った者は誰ひとり帰ってきた人はいないからだ。死は苦悩だけを永遠の世界に持ち込むだけであるかもしれない。

ハムレットは、だから、生を選ぶか、死を選ぶか迷いに迷うのである。名作ハムレットには、多くの翻訳がある。原作にある冒頭の科白は To be, or not to be: that is the question. であるが、いろいろな人の訳で、ハムレットの苦悩を聞いてみよう。

ながらふべきか但し又、ながらふべきに非るか、爰が思案のしどころを。 (矢田部良吉)

死ぬるが増か生くるが増か、思案をするはここぞかし。 (外山正一)

生か死か……それが問題だ (久米正維)

生きるか、死ぬるか、そこが問題なのだ。 (市河三喜・松浦善一)

生か、死か。それが疑問だ、どちらが男らしい生きかたか、じっと身を伏せ、不法な運命の矢弾を堪へ忍ぶのと、それとも剣をとって、押しよせる苦難に立ち向ひ、とどめを刺すまであとへ引かぬのと、一體どちらが。いっそ死んでしまったほうが。死は眠りにすぎぬ——それだけのことではないか。眠りに落ちれば、その瞬間、一切が消えてなくなる。胸を痛める憂ひも、肉體につきまとふ数々の苦しみも。願ってもないさいはひというもの。 (福田恆存)

個人でも、国家でも、これで終りかもしれないぎりぎりの瀬戸際に迫いつめられた場合、西欧諸国ではハムレットの科白を常套句のように使う。自国語に翻訳しないで英語のまま使用するという。

ハムレットは、内省的で懐疑家、行動より先に思考があり、自己をじっとみつめて苦悩する。そこからこうした性格・行動パターンをもっている者を「ハムレット型」といっている。ハムレット型の逆が「ドン・キホーテ型」。

【来客紹介】 3名

【出席報告】

24年9月21日(第516回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
30名	2名	25名	3名	89.29%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

- 1) 第3回理事会報告(別紙:IM開催案)
- 2) 第11回ロータリーXmas 出席確認について

【回覧資料】

1) 他クラブより例会場移転のお知らせ(池田RC)

ニコニコ箱(9月28日)

高島ガバナー

大阪中之島RC = 地区大会、よろしくお願いします。

東 健三 = 日中の危機。交戦までには行かないと思うが、経済制裁の発動はありうる。日本経済の打撃は計り知れない。

賢明な着地点を日本国民は願っている所です。

福島 三雄 = 高島ガバナー、本日はよろしくお願いします。

川上 大雄 = 今日は親父の命日です。

菊 泰仁 = 本日は高島ガバナーをクラブ会員一同、心より歓迎申し上げます。ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

近藤 嘉一 = 高島ガバナー 御来訪有難うございます。本日はお会い出来ますのを楽しみに参りました。よろしくお願い致します。

森本 良嗣 = 今日は高島ガバナー、お忙しいところをご訪問頂き有難うございます。

檜皮様、杉村様、地区大会のご案内、ご苦勞様です。今日の例会は中之島RCの皆様で盛り上げていただいて、本当に有難うござ居ます。

中根三恵子 = 今日で3回目ですが、まだ緊張がとれません！

斧原 邦夫 = やっと朝夕は凌ぎ良くなってまりました。本日は高島ガバナーのご来会、心から歓迎致します。

ご指導の程、何卒宜敷くお願い申し上げます。

高野 幸雄 = 高島ガバナー様、お忙しい中ありがとうございます。

中之島ロータリークラブの皆様、地区大会のご案内 ご苦勞様です。当クラブもIMのホストを努めます。その際はよろしくお願い致します。

豊島 秀郎 = 中国は大変ですね。

和氣 勝海 = 高島ガバナーようこそいらっしゃいませ。心より歓迎いたします。ご指導よろしくお願いいたします。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 26000円

今年度合計 2856080円

2012～2013年度ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2660地区 高島凱夫ガバナー

地区ガバナーになるためには、国内で開催される2回(2011年9月、2011年11月)の「GETS」と米国・サンディエゴで開催される「国際協議会」への参加が義務づけられています。これらの研修は、PETSに会長エレクトの皆様方に出席義務があることと同様です。

サンディエゴ「国際協議会」は2012年1月16日～20日までの間、朝から夕方までガバナーになるべく、研修を受けて参りました。

「Rotary Japan」のHP、「ロータリーの友」にも詳細に掲載されましたので、ご覧になった方も大勢いらっしゃると思います。

2012～13年度RI会長は、1968～69年度東ヶ崎潔氏、1982～83年度向笠廣次(むかさひろじ)氏に次ぐ、30年ぶり、3人目の日本人RI会長 田中作次氏(D2770 八潮RC・埼玉県)です。

田中作次RI会長のテーマは「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」です。これは、ただ単に戦争と平和ということではなく、この平和は、一人ひとりが心穏やかに日々を生きていくことを意味し、このことが、ロータリーの究極の目的で、ロータリーにしか出来ない世界平和に通じる道である、と述べています。

ロータリークラブに入会して、ロータリーライフを充分に楽しみ、この組織の将来についてお考えになったことがおありかと思えます。ロータリークラブは未来に続くものと信じていますし、皆様方もそう願っていると思えます。そのためには、ロータリークラブを引き継いでいく「若いロータリアン」の育成に力を注がなくてはならないでしょう。

それに加え、未来の地球平和を維持していく「若い力・若いリーダーを育む」義務がロータリアン、あるいは世の中の先輩である私たちにあります。それを踏まえて、2012～13年度の地区方針を「育もう未来の力を～飛躍～」といたしました。

停滞している現状を脱却するためには、質の高い、ロータリーにふさわしい新しい力を注入する必要に迫られていることは、皆様方お判りだと思います。さまざまな社会的変化に伴い、ロータリー自身、ロータリアン自身が変化して行く→変わらなくてはいけないのです。田中作次RI会長もロータリーの改革を訴えています。今までのロータリーに固執することなく、良いことは率直に認め、受け入れることが「真のロータリアン」であり、ロータリーの発展に貢献する最大のものと思えます。

今年度は、次の4つの言葉をKeywordにしていきたいと思えます。

①会員増強・会員維持 ②会員研修 ③健全な青少年の育成 ④平和な社会への貢献

◎会員増強についてのお願い

現在世界で、120万人のロータリークラブ会員を、2012～15年までに130万人にするのがRIの目標です。

当地区の2012年2月度の会員数は3,710名です。大阪でも全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなく

てはならないと思います。地区で3,900名、各クラブ6%の純増をお願いいたします。

多分、この6%については、皆様「そんなこと出来ない」と思われる数字だと思いますが、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、これでも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆様良くお判りだと思います。現在在籍している新しいロータリアンをロータリークラブの次のリーダーとして研修を積んでいただくことは言を俟たないことです。各クラブ「プロジェクト3900」にご参加下さい。

地区でも皆様方の負担金を極力少なくする努力をしていますが、会員が増加することで地区への負担金の減額、強いては各クラブの会費等の減額につながり、会員の増強と良い歯車になると思われます。

◎東日本大震災支援(災害支援)のお願い

Keywordには入れていませんが、震災支援も大きな責務と考えます。

今年度も地区としては、災害支援を継続して参ります。この支援は、今後何年に及ぶ事業か判りませんが、ロータリーとして継続すべき大きな事業の一つであると考えて下さい。

今年度は支援の額は申し上げませんが、クラブ、あるいは会員お一人おひとりのお考えで、出来る限り最高の額を、地区災害支援基金に是非ご入金下さいませようお願い致します。第2660地区災害支援基金も現在枯渇しています。災害支援プロジェクト委員会は、今後国内外で発生するであろう災害に対しても支援が出来るよう、地区として常設の委員会にしていくようにしたいと願っています。震災の支援につきましては、2年目を迎え、更に細かな「心を見守るような」支援が必要となってくるでしょう。心のケアが大事になってくる時期に入ってくると思われまます。地域の社会保険協議会との連携も必要になって行くでしょう。

災害支援プロジェクト委員会には、基金の管理のみならず、この様な新しい展開の取り組み、新たな災害支援へのマニュアル作成などの模索も併せて行っていただきたいと願っています。

現在、各クラブで行っている、東北のロータリークラブやその他の団体との連携は、更に深めて戴きたいと思います。

震災支援につきましては、各クラブ、個人個人で考えが大きく異なっていることも事実でしょう。

◎地区大会ご参加のお願い

今年度の地区大会は、2012年12月7日～8日に、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪で開催いたします。「健全な心と体の育成を～地球の平和のために～」をテーマに行います。綱領の解釈のお話、iPS細胞の話など、盛りだくさんの話題を取り揃えています。お誘いあわせの上、賑々しく会場にお越し下さい。

◎結びに

私は「灯心に火を点す」という奉仕活動が大切だと思い、奉仕活動を行なっています。お互いのニーズがかみ合わないときは、そっと火を離し、心が通うまでじっと待つことも必要な時もあります。一度ともった灯が、明るく周囲を照らし、奉仕をする人も「して良かった」、奉仕を受ける人も「それを受けて幸せだ」と思う奉仕事業が大切だと思います。その奉仕を実行、持続するためには、ロータリアンにふさわしい若い力が必要なのです。

地区にとって、前向きで建設的なご意見は、出来る限り取り入れたいと思しますので、お寄せ下さい。

最後になりましたが、貴クラブの益々のご隆盛を心からお祈り申し上げますとともに、一年間、皆様方のお力添えを戴きながら重責を果たしたいと思っていますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか